

新型コロナウイルス感染症対策に係る
熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、**レベル3警報**とします。

【概要】

1 県内の感染状況

期 間	新規感染者数	うちリンクなし 感染者数
6月24日(木)～6月30日(水)	25名	5名

2 国分科会ステージ及び熊本県リスクレベルについて

前回(6月25日発表)	今回(7月2日発表)
国分科会ステージ2(レベル3警報) なお、感染状況は減少傾向が見られる。	レベル3警報 なお、感染状況は減少傾向が見られる。

3 県民の皆様へのお願い

県民・事業者の皆様の御協力により、県内の感染は落ち着いています。一方、大都市部での感染増加や人の動きにより、今後県内感染が増加する可能性もあり、注意が必要です。急激な感染者再増加の防止のために、特に飲食の場での感染や、若い世代の感染拡大を防ぐことが重要と考えられるため、熊本県飲食店感染防止対策認証制度の啓発や、基本的な感染防止対策の改めでの啓発に取り組みます。また、ワクチン接種については、今後徐々に若い世代への接種も進め、遅くとも11月中に希望する全ての方への接種ができるよう取組みを進めます。

県民の皆様には、引き続き基本的な感染防止対策(飛沫感染対策としてマスク着用、接触感染対策としてこまめな手洗いや共用部の消毒等)及び全ての事業所において、症状がある従業員は仕事を休ませ、すぐに受診に繋げる体制等の継続をお願いします。

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和3年（2021年）7月2日】

1 熊本県における現状認識

国内の感染状況は減少傾向が継続している。その反面、大都市では人流が増加しており、特に首都圏においては新規感染者が横ばいから増加の兆しを見せつつある。また、感染性が高いとされるデルタ株は、全国のスクリーニング検査結果によると、全体の5%程度であるが、今後急速に置き換わりが進むと推定されており、注意が必要である。

本県の6月24日から6月30日までの感染者は25人（リンク不明感染者数は5人）であった。現状を総合的に判断し、リスクレベルはレベル3警報を維持する。

県民・事業者の皆様の御協力により、感染は落ち着いているが、大都市部での感染増加や人の動きには注意が必要である。急激な再増加防止のためには、特に飲食の場での感染や、若い世代の感染拡大を防ぐことが重要であるため、熊本県飲食店感染防止対策認証制度の啓発や、基本的な感染防止対策の改めての啓発に取り組む。また、ワクチン接種については、今後徐々に若い世代への接種も進め、遅くとも11月中に希望する全ての方への接種ができるよう取り組みを進める。

県民の皆様には、引き続き基本的な感染防止対策（飛沫感染対策としてマスク着用、接触感染対策としてこまめな手洗いや共用部の消毒等）及び全ての事業所において、症状がある従業員は仕事を休ませ、すぐに受診に繋げる体制等の継続をお願いする。

前回（6/25発表）	今回（7/2発表）
国分科会ステージ2（レベル3警報） なお、感染状況は減少傾向が見られる。	レベル3警報 なお、感染状況は減少傾向が見られる。

【熊本県リスクレベル基準】

【目的】 患者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策の考え方・方向性	想定状況
レベル5 厳戒警報	県内で ①新規感染者 150 名以上 かつ ②病床利用率 25% 以上 等	<ul style="list-style-type: none"> 重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。 大規模クラスターや感染拡大の確実な封じ込めのための体制整備、検査実施等。 メリハリを利かせた接触機会の軽減のため、強い制限を要請。 	複数の大規模クラスターの発生
レベル4 特別警報	県内で ①新規感染者 50 名以上 かつ ②リンク無し感染者 25 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所への人的支援及び幅広い検査、原因施設への指導等を行う。 メリハリを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。 	感染の更なる拡大と、クラスターの散発/連鎖
レベル3 警報	県内で ①新規感染者 30 名以上 又は ②リンク無し感染者 15 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなところから感染防止対策の強化を図る。 	感染の拡大と、小規模クラスターの発生
レベル2 警戒	県内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発 	
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生		
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な対策を啓発 	

※これ以上の爆発的な感染拡大や、国が緊急事態宣言を行う場合の対応は、状況に応じ、更に強い措置を検討する。

※これまでの感染防止対策の経験を踏まえ、メリハリを利かせた対策を行うことを基本とする。

※国の分科会が示した指標によるステージ分類についても、参考指標とし、毎週公表する。

※今後の感染状況等の最新の知見に合わせ、必要に応じて改定を検討する。

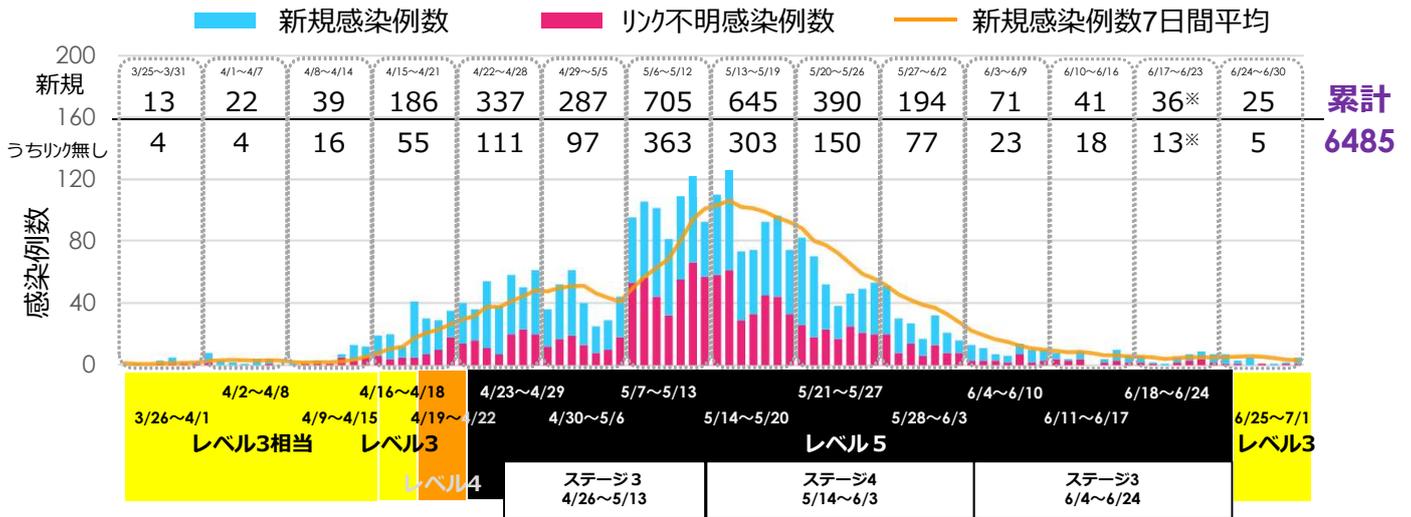
2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (7月1日現在)

- 国内の感染状況は減少傾向が継続している。その反面、大都市では人流が増加しており、特に首都圏においては新規感染者が横ばいから増加の兆しを見せつつある。また、感染性が高いとされるデルタ株は、全国のスクリーニング検査によると、全体の5%程度であるが、今後急速に置き換わりが進むと推定されており、注意が必要である。
- 熊本県の6月24日から6月30日までの感染者は25人（リンク不明感染者数は5人）であった。指標を機械的にあてはめた場合、レベル2警戒の水準だが、リスクレベルは下げるときは慎重に判断すべきであるため、レベル3警報を維持することが妥当である。
- 県民・事業者の皆様の御協力により、県内の感染状況は著しく改善し、6月27日をもって時短等の強い対策は解除された。一方、これまで大都市部の感染増加は必ず熊本県まで波及しており、首都圏における感染拡大の兆しに注意が必要な状況である。
- これらの波及を防ぐためには、感染増加の急所とされる繁華街の飲食の場における感染対策や、感染をより拡散させやすい若者への啓発やワクチン接種が重要となる。
- 現在、高齢者へのワクチン接種が進められているが、一部の市町村では64歳以下の方の接種や予約が開始されているほか、企業や大学等による職域接種の実施により若者も接種できる機会が出てきている。
- 現在国内で主に使用されているmRNAワクチンについては、重症化・発症のみならず感染自体を予防する効果が確認されつつある(※1)。そのため、接種者本人だけでなく、御家族など大切な方も感染から守る効果が期待される。また、他国で確認されているとおり、多くの方が接種をすることにより、感染の波自体を防ぐ効果が期待される(※2)。
- 当然、接種は個人の意思によるものだが、県・熊本市においては、こうしたメリットを踏まえ、副反応の状況も丁寧に説明し、迅速かつ円滑な接種を促していただきたい。
- ただし、デルタ株などワクチンの効果を弱める変異株の増加も起こると予想され、接種の進んだイギリスにおいても顕著な再増加が見られている。したがって、感染予防効果の過信は禁物で、基本的な感染防止対策を併せて行うことが非常に重要である。
- 今後も、基本的な感染防止対策の徹底を呼び掛けるほか、特に飲食の場における対策については、熊本県飲食店感染防止対策認証制度や、熊本市で取り組まれている中心市街地飲食店従業員のPCR検査を周知し、急激な再増加を防いでいただきたい。

※1: 第40回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード（令和3年6月23日）資料5-1

※2: Milman, O., Yelin, I., Aharon, N. et al. Community-level evidence for SARS-CoV-2 vaccine protection of unvaccinated individuals. Nat Med (2021). <https://doi.org/10.1038/s41591-021-01407-5>

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（3/25～6/30）：確定日ベース】



・リンク無し感染者数は、調査により変動することがあることに注意
 ・木曜日～翌水曜日までの陽性者数を集計

※ 事例の取り下げのため、6月25日公表リスクレベル資料より修正

【保健所ごとの感染例の確認状況】

保健所名	これまで	6/24～6/30		保健所名	これまで	6/24～6/30	
		陽性者数	人口10万人※あたり			陽性者数	人口10万人※あたり
熊本市保健所	3668	17	2.3	宇城保健所	247	2	1.9
有明保健所	610	0	0.0	八代保健所	308	0	0.0
山鹿保健所	215	1	2.0	水俣保健所	154	0	0.0
菊池保健所	557	5	2.7	人吉保健所	148	0	0.0
阿蘇保健所	131	0	0.0	天草保健所	76	0	0.0
御船保健所	346	0	0.0	計	6460	25	1.4

※ 各保健所管内の人口は平成31年4月1日のものを使用

【国新型コロナウイルス感染症対策分科会の示す感染状況の指標】

	医療提供体制等の負荷				感染の状況				早期探知指標 新規陽性者数の前週今週比 今週先週比が1.0を超える状況が継続する場合には注意が必要
	①医療の逼迫具合		②療養者数	③検査陽性率		④新規陽性者数	⑤感染経路不明割合		
	入院医療			県内全検査	行政検査等※2				
	確保病床使用率	入院率※1	重症者用病床			確保病床使用率	週移動平均	週合計	
ステージ4	50%以上	25%以下	50%以上	524人以上	10%以上	—	437人以上	50%以上	
ステージ3	20%以上	40%以下	20%以上	349人以上	5%以上	—	262人以上	50%以上	
ステージ2	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階								
ステージ1	医療提供体制に特段の支障がない段階								
6月30日	8.1%	79.0%	8.9%	62人	0.6%	3.4%	25人	5人(20.0%)	0.68
6月23日	10.9%	77.1%	16.1%	83人	0.9%※3	15.6%※3	36人※3	13人(36.1%)※3	0.88※3
6月16日	15.4%	80.5%	16.1%	113人	1.0%	5.9%	41人	18人(43.9%)	0.58
6月9日	30.4%	80.1%	25.0%	226人	1.5%	8.2%	71人	23人(32.4%)	0.37
6月2日	47.3%	57.0%	48.2%	493人	3.3%	10.7%	194人	77人(39.7%)	0.50
5月26日	62.8%	43.2%	42.4%	727人	—	14.6%	390人	150人(38.5%)	0.60
5月19日	56.2%	32.1%	39.0%	879人	—	15.6%	645人	303人(46.9%)	0.91

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上（174人）の場合に適用
 ※2 行政検査及び医療機関で陽性が確認された検査の陽性率(参考値)
 ※3 事例の取り下げのため、6月25日公表リスクレベル資料より修正

3 県民の皆様へのお願い（7月2日発表）

熊本県の状況は、**レベル3警報**です。
また、感染状況は、減少傾向が見られます。

1 基本的な感染防止対策の徹底

- ① 症状がなくとも、マスク着用
- ② こまめな手洗い・手指消毒
- ③ 発熱時は仕事等を休み、すぐにかかりつけ医等に電話相談！

- ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
- ・マスク着用、手洗い、人と人との距離の確保等の感染防止対策を徹底してください。
- ・帰宅直後の手洗いや入浴、発熱等の症状がある同居者と部屋を分けるなど、家庭内における感染防止対策を徹底してください。
- ・厚生労働省がリリースした接触確認アプリの積極的な利用をお願いします。



©2010 熊本県 くまモン

2 移動・外出は慎重に

【移動】 緊急事態措置区域及びまん延防止等重点措置適用区域への不要不急の移動※を控えてください。

【外出】 外出時は、感染防止対策を徹底してください。

※ … 医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要な場合を除きます。

3 会食はリスク大！特に注意しましょう

- ・会食は、宅飲みを含み、感染リスクを最小化するために、下記に留意して実施してください。

- ①「会食時の感染リスクを下げる4つのステップ」を遵守して
- ②なるべく普段から一緒にいる人と
- ③人数を絞って

4つのステップ



- ・県内全域で、深夜遅くまでの飲酒や会合など、感染拡大につながる行動を控えてください。
- ・感染防止対策が講じられていない飲食店は利用しないようお願いします。（ステッカー等で確認をお願いします。）

熊本県作成 会食時の感染リスクを下げる4つのステップ

飲酒を伴う懇親会や大人数での飲食、長時間におよぶ飲食等は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まる場合に該当しますが、様々な工夫と一人一人の心がけて、感染リスクを下げることは可能です。
感染リスクを下げる4つのステップをみんなで実践しましょう！

STEP1 予約時に下げる！

- お店を予約する際に、感染防止対策を実施しているお店が確認しましょう。
➢ 感染防止対策を実施しているお店は、ステッカーの掲示等で確認できます。
- 他の団体客との接触を減らすため、部屋を別にする、パーティションで空間を分けるなどの対応が可能なお店と相談しましょう。
- 大人数（5人以上）での会食の場合は、テーブルを分ける、席の配置を斜め向かいにする、席と席の間にアクリル板を設置するなどの対応が可能なお店と相談しましょう。



STEP2 会食前に下げる！

- 発熱等の症状の有無を確認し、体調の悪い人は参加しないようにしましょう。
- 入店時に手指消毒を行い、マスクを着用したまま、すぐに着席しましょう。

STEP3 会食中に下げる！

- 食事中でも、会話をする際はマスクを着用しましょう。
➢ 食事の時間と会話の時間を分けるなどの工夫が効果的です。
- 大声での会話や席の移動は控えましょう。
- 箸やコップの使いまわしはやめましょう。
- 深酒は控えましょう。アルコールを飲みすぎの人がいたら、ソフトドリンクを勧めましょう。
- 飲酒の影響で参加者の気分が高揚し、マスク無しの会話や大声での会話が行われるなど、感染防止対策が実施されない状況になってしまったら、早めにお開きしましょう。

STEP4 会食後に下げる！

- はしご酒は控えましょう。
- 帰宅直後の手洗いや入浴により、家庭内にウイルスを持ち込まないようにしましょう。
- 万が一、発熱等の症状が出た場合は、かかりつけ医等に電話相談のうえ、医療機関を受診しましょう。また、幹事等に連絡し、参加者と情報共有しましょう。

4 飲食店事業者の皆様への要請

【感染対策】 県が示す「感染防止対策チェックリスト」や業界団体が示す「業種別ガイドライン」を参考にした感染防止対策を徹底してください。

チェックリスト



認証制度



【認証制度】 感染防止対策を徹底し、「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」をご活用ください

5 イベントの開催について

- ・ イベントの開催制限に係る県のHPや、イベントの態様に応じた業種別ガイドラインを参考とし、感染防止対策を徹底してください。
- ・ 全国的な人の移動を伴うイベント又は参加者が1,000人を超えるイベントの開催を予定する場合、施設管理者又はイベントの主催者は県に事前相談してください。
- ・ 人数制限は、次の【人数上限】及び【収容率】のいずれか小さい方です。
(大声での歓声・声援の想定については、過去の実績資料をもって判断します)

イベント開催制限



		①大声での歓声・声援等がないことを前提とする場合	②大声での歓声・声援等が想定される場合等
人数上限	収容人数10,000人以上の施設	収容定員の50%	収容定員の50%
	収容人数10,000人未満の施設	5,000人	5,000人
	収容人数の定めがない施設	密が発生しない程度の間隔を確保	十分な人と人との距離を確保
収容率	要件※1を全て満たす場合	100%以内	50%以内※2
	満たさない場合	50%以内※2	

※1…これまでクラスター等が生じておらず、適切な感染防止対策が徹底されていることについての要件。「イベント等の開催に係る留意事項について」をご確認ください。

※2…異なるグループ又は個人間では座席を1席空けることとしつつ、同一グループ（5人以内に限る）内では座席等の間隔を設ける必要はない。すなわち、収容率は50%を超えることもありうる。

- ・ その他の制限等もありますので、イベント開催を検討されている場合、必ず県のHPをご確認ください。

6 その他

事業者

- ・ 業種別ガイドラインの遵守を要請
- ・ テレワーク・時差出勤等の取組みの協力依頼
- ・ 職場における感染防止のための取組み（手洗いや手指消毒、換気励行、共用物の消毒、テレビ会議の活用、昼休みの時差取得等）徹底の協力依頼

高齢者施設

- ・ オンライン研修等による、感染防止対策実施を要請
- ・ 従業員にわずかでも症状がある場合、確実に仕事を休ませる体制構築を要請
- ・ 従事者へのPCR検査等の積極的受検の要請

県民の皆様へのメッセージ

残念ながら、感染者やその御家族、医療従事者の方々の中に、差別を受け、苦しんでいる方がおられます。新型コロナウイルス感染症には、誰もがどこでも感染する可能性があります。感染された方やその御家族、職場関係の方々に責任はありません。不当な扱いや嫌がらせ、誹謗・中傷などは絶対のないよう、お願いします。

熊本市の状況と対策

- 熊本市においては直近 1 週間の新規感染者数は先週と比較して横ばいとなっています。中心市街地における人流も増加しており、感染のリバウンドも懸念されます。

感染性がより高いとされるデルタ株等については、現在確認されていませんが、確認された場合、これまで以上に急速に感染が拡大する恐れがあるため、油断せず感染防止対策を徹底していくことが重要です。

【対策】

- ・熊本市における取組みは以下のとおりです。
 - ✓ 中心部の商店街と連携したPCR検査の勧奨や、大学と連携した大学生向けの感染防止対策の周知広報・PCR検査など、中心部歓楽街や若者を対象とした感染防止対策の実施
 - ✓ 高齢者施設等従事者に対する緊急PCR検査の継続実施
 - ✓ 熊本駅等でモニタリング検査の実施
 - ✓ 県と連携し、入院患者受入病床や後方支援医療機関の更なる確保に向けた継続的な実施
 - ✓ ワクチン接種の着実な実施
 - ✓ 医療提供体制を守るため、病床使用率を注視し、一般病床使用率50%以上・重症病床使用率25%以上を目安に、専門家の意見を踏まえ「熊本市医療非常事態宣言」の再度の発令について検討

【熊本市からの要請】

- ・熊本市から熊本市民の皆様への要請は以下のとおりです。
 - ✓ **基本的な感染防止対策**を徹底してください（**手洗い・うがい・消毒・マスク着用**）
 - ✓ 緊急事態措置 及び まん延防止等重点措置適用都道府県への不要不急の移動を控えてください。
 - ✓ **外出時の感染防止対策**を徹底してください。
 - ✓ **対策が講じられていない飲食店は利用しないでください。**
 - ✓ **なるべく普段から一緒にいる人と人数を絞ってお願いします。**
 - ✓ 熊本県が示す「**会食時の感染リスクを下げる4つのステップ**」を遵守してください。
 - ✓ 職場において、**業種別ガイドライン**等を参考に、**感染防止対策の徹底**を再度確認してください。また、**テレワークを推進**してください。
 - ✓ **職場における感染防止のための取組み**を徹底してください。
 - ✓ **高齢者施設従事者や中心部飲食店従業員を対象としたPCR検査等**について、受検していただくようお願いいたします。